

富山県中学校スキー選手権大会アルペン競技における 新型コロナウイルス感染症対策基本方針（訂正）

富山県中体連スキー専門部（アルペン）

【感染対策基本事項】

- ・参加者は、日頃から感染症感染防止に心掛けて行動する。
- ・**マスク等の着用、手指のこまめな消毒、ソーシャルディスタンスの確保、3密の回避**を心掛け、「絶対に感染しない」「感染を拡大させない」といった高い意識をもって徹底的なリスク回避をして大会参加する。
- ・大会実施中は、使用施設、宿舎、公共交通機関等利用する場所の感染症対策ガイドラインを順守する。
- ・マスク、消毒薬等の個々の感染症対策に必要な物品は、必要数量を参加者個人が準備して持参する。
- ・引率者は、共用スペース・物品のための感染症対策に必要なマスク、消毒薬、ビニール袋、手袋などの物品を予備も含め十分準備する。
- ・大会実施中は、物品等の共用はできるだけ避ける。
- ・大会会場で出たゴミは各自で持ち帰る。
- ・詳細については、「全日本スキー連盟S A J競技会新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」等の関係機関が発行するガイドラインを順守、参考とする。

【具体的な対策について】

1 大会前

- ・選手、役員、応援に来る保護者等、大会会場に入場する全ての人は、**大会開始2週間前から体温（起床時）、健康、行動を「健康チェックシート」に記録して当日受付（多目的棟）**に提出する。
- ・参加者は、自己の行動に留意し、感染リスクが高い場所への訪問を控える。
- ・**実施2週間前の健康観察を行い**、期間中に、発熱等体調不良がある場合は大会に参加しない。
- ・利用する地域やスキー場等などの滞在先で利用する地域や場所の感染症状況や感染症ガイドラインを調べて対応する。

2 大会会場（選手・役員）

- ・選手及び役員は**毎日多目的棟で受付を行う**。受付では検温・手指の消毒を行い、受付用紙に記入する。（毎日健康チェックシートを提出する）
- ・受付後、**選手はビブ、役員はベストで大会のIDとする**。
- ・待機場所を多目的棟とする。（「ロッジ峰」等を利用しない）
- ・選手、役員は会場内ではマスクを着用する。但し、**競技中は着用しなくてもよい**。
- ・他チームの選手や指導者とは必要以外の接触を避ける。会話等が必要な時はマスクを着用し十分な距離を取る。
- ・スタート地点等で列に並ぶ場合は、マスク等を着用し前後の間隔を空け密集を避ける。
- ・スタートする前にマスクを外しワンピース等に入れ、ゴール後はマスクを着用する。

3 大会会場（引率・保護者及び応援）

- ・引率や保護者等も毎日多目的棟で受付を行う。受付では検温・手指の消毒を行い、受付用紙に名前等を記入する。（毎日健康チェックシートを提出する）
- ・受付後、引率・保護者等は大会IDとしてシールをもらいウェアの見える箇所に貼る。
- ・待機場所は多目的棟や無料休憩場以外を使用する。
- ・会場内では、大声や鳴り物での応援は慎み、ソーシャルディスタンスを心がけマスクを着用する。
- ・指導の場面では、選手とは十分な距離をとる。指導者は必ずマスクを着用する。
- ・他チームの選手や指導者とは必要以外の接触を避ける。会話等が必要な時はマスクを着用し十分な距離を取る。

4 リフト乗車

- ・リフト乗車時はマスクを着用する。できるだけ1人で乗車する。2名で乗車する際は同じ学校の関係者、又は知り合いと乗車する。

5 休憩所・食事

- ・休憩所などの利用の際は、時間帯や少人数のグループに分けるなどして3密にならないように注意する。
- ・多目的棟内のロッカーは使用してもよい。
- ・昼食について選手・引率・保護者等は「ロッジ峰」等を利用してよいが、入る際には「ロッジ峰」に設置してある装置で検温・手指の消毒を行う。
- ・役員の昼食は多目的棟で取り「ロッジ峰」等では取らない。
- ・昼食をとる場合は、感染リスクが高くないように留意し、混雑する時間をさける、少人数に分けて食事をするなど感染症対策をする。
- ・会場に感染症ガイドラインがある場合は、ガイドラインを順守する。

6 体調不良者が発生した場合

- ・体調不良者が発生した場合は、直ぐに体調不良者を隔離し、保護者に連絡し帰宅させ、医療機関を受診してもらう。受診の結果が分かり次第、引率者に連絡する。
- ・引率者は、体調不良者が発生した場合は結果を競技委員長に連絡し、競技委員長は、専門部委員長と専門部部長に連絡する。